

# 阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I

善も悪もともに認めてうけ容るる  
ひろき心になれよ人々

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

「灰釉茶盃」美草  
「みろく土、長生殿芭蕉」

## 四代教主さまの思い出

大本総代 石井信孝

「広葉樹は温かく明るく感じますね。私はツバキが好きですが、中でもヤブツバキが好きです」

平成12年10月、四代教主・出口聖子さまが宮城分苑にご親教の折に、分苑の敷地をご案内させていただいた中でのお言葉です。

宮城分苑の「神の家」が建つ土地は、昭和3年10月、出口王仁三郎聖師さまが初めて東北ご巡教で仙台駅に到着され、駅前で西南の方角をお向きになって、「…宝埋めおく…」等のお歌を詠まれたのを聞いていた二、三人の信徒と私の父が、地主の承諾を得て、開拓に入り、入手した場所です。戦後には、物資不足で、燃料としての過度の樹木伐採が進み、山の峰で風当たりが強く、土が飛ばされることがよくありましたので、ヒマラヤシダー、杉、松を植え、多くが繁りました。

その土地に、平成3年、宮城主会（当時）の皆さまが気持ちを合わせ、当初は集会所（後の神の家）として建築。平成6年の四代教主さま初のご親教の際には、「立派な神の家」が完成しておめでとうございます。ご神業の発展につながってゆくことと存じます」とのお言葉を賜り、神の家の北側の庭に「ナツツバキ」を記念植樹してくださいました。

平成30年3月、樹木が生い茂り日当たりを良くするため、市の緑化条例の制約を確認しながら伐採。その跡には、実生のヤブツバキを集め、順次、植樹しました。ツバキが花を咲かせるころ、いつも四代教主さまのお姿が懐かしく思い出されます。

私ごとで恐縮ですが、私が経営する「オリオン制作」の社名は、平成3年、四代教主さまにご命名いただきました。高齢となった今も、高い品質を目指し、五代教主さまのご守護のもと、物造りに励んでいます。



## 長寿祝賀式典を開催

9月東光苑月次祭（長寿感謝祭・交通安全祈願）並びに秋季合同慰霊祭は9月11日午前10時30分から、齋主・加藤道明祭務課長のもと執行され、171人が参拝した。慰霊祭では、東北、関東教区にゆかりある先人のご遺徳に感謝申し上げ、霊界でのご活躍と弥栄を祈念した。祭員は関東教区青松会が、大本神諭拝読は堀越晴子山梨主会青松会会長が、東光庵での添釜は東京主会が担当した。祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつ。続いて長寿祝賀として、石井宣江・直心会関東教区連合会常任委員が祝辞ののち、長寿者を代表して、神奈川主会大船分所



前列向かって左から、小川毅一郎さん、佐々木武雄さん、長谷川浄子さん、後列2人目から鈴木明子さん、田中聡至さん、村井美佐夫さん

の長谷川浄子さん（米寿）に記念品が手渡され、ついで埼玉主会浦和分所の佐々木武雄さん（米寿）が答辞を述べた。この後、長寿者は参拝者の拍手に見送られ退場。東光庵お茶席に入席したⅡ写真右。なお、本年、東北・関東教区の長寿該当者は白寿6人、米寿32人、喜寿51人。



東光苑月次祭



秋季合同慰霊祭

## 10月はクリーン月間

10月は「全国一斉クリーン月間」です。ご自宅の周辺はもとより、信徒同士や、それぞれの機関でお声がけいただき、地域のゴミ拾いなどを行いましょう。

## オンライン教本認定講習会

～み教えを人にお伝えするために～

日時 10月29日(土)  
8:40～16:20  
10月30日(日)  
8:50～16:10

※ Zoom ミーティングを使用

対象者 ▷ 教本認定級 未取得者（初級）  
▷ 教本認定2・3級取得者（中級）

定員 各クラス5人程度

参加費 1,000円  
※実践リーダー教本をお持ちでない方は、別途、ご購入いただきます。  
（「初級編」525円、「中級編」734円）

申込 氏名・電話番号・所属・希望クラス・現在の教本認定級・実践リーダー教本の有無を明記の上、必ずメールで [k-nishiyama@oomoto.or.jp](mailto:k-nishiyama@oomoto.or.jp) (担当：西山) までお申し込みください。

締切 10月23日(日)

申込後 郵便振替番号(教本購入の方は本代含む)をメールで返信しますのでお振込みください。お振込みを確認後、Zoom ミーティングのID・パスワードをお送りします。開催日までに各種資料（『実践リーダー教本』を購入された方は同封）を郵送します。

## 東光苑オンライン講座

11月19日(土) 19:00～

### 大本と八雲琴

～清雅な調べとその由来～

講師：若宮 恵（二絃の会 講師）



二弦で奏でる珍しい楽器『八雲琴』は、江戸後期に生まれた純粋な伝統和楽器です。大本では出口王仁三郎によって明治42年から祭典奏楽として採用されています。「八雲琴は神に奉仕するをもって目的とする」との考えのもと創案された『八雲琴』の歴史を紹介しながら、二弦琴の清雅な音色とその魅力に迫りたいと思います。

配信は「大本東京本部ホームページ」をご覧ください！

## 11月 東光苑祭典・行事予定

6日(日) 午前10時30分  
開教百三十年 大本開祖大祭遙拝祭

13日(日) 午前10時30分  
東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣り

19日(水) 午後7時  
東光苑オンライン講座(配信)  
講座 大本と八雲琴

講師 若宮 恵(二絃の会 講師)  
～清雅な調べとその由来～

26日(土) 午後1時30分  
自己を見つめる集い(鎮魂と浄書)

※当初25日(金)の予定でしたが、日程を変更しました。